

大学間連携ゼミこれまでの実績

●過去の合同ゼミ開催地域とテーマ

年度	ホスト校	開催地	テーマ
2001	九州大学	熊本県球磨郡五木村	川辺川ダム問題
2002	佐賀大学	長崎県諫早市	諫早湾干拓の是非
2003	熊本大学	熊本県芦北町	中山間地域の抱える課題
2004	鹿児島大学	鹿児島県川辺町	住民主導の循環型社会の構築
2005	九州大学・西南大学	西南学院大学キャンパス	憲法9条改正と国民投票
2006	佐賀大学	佐賀大学キャンパス	市町村合併とまちづくり
2007	熊本大学	大分県由布市湯布院町	住民自治とまちづくり

●日付と参加学生数(概数)は以下のとおり。

- 第一回:平成14年2月21日から23日、学生数約60名。
- 第二回:平成14年12月21日から22日、学生数約70名。
- 第三回:平成15年12月12日から14日、学生数約80名。
- 第四回:平成16年12月10日から12日、学生数約80名。
- 第五回:平成17年12月2日から4日、学生数約80名。
- 第六回:平成18年12月8日から10日、学生数約80名。
- 第七回:平成19年12月7日から9日、学生数約90名。

●教員数は、第一回は4名。以後は5名。

- ①6月から7月にかけて各参加ゼミは、ゼミ内の学習・討論及びゼミ間の討論の中で、合同合宿を行う九州管内の特定の自治体を選定し、当該自治体が抱える地域課題と政策課題に関して調査研究テーマを設定する。
- ②次に、そのテーマに沿って各ゼミは事前にそれぞれの地域での類似の問題を調査し、9月に講師を招いてブレ合宿(二泊三日)を行う。調査活動の過程で、定期的に担当教員及び代表学生が打合せと情報交換を行い、調査によって得た情報の交換と合同ゼミに関するスキームの構築の作業を進めていく。
- ③合同ゼミは12月に合同合宿を行う。  
この合宿では学生が調査・討論・運営のすべてを学生が行い、教員は一切口出しをしない。参加大学の学生全員が二泊三日で宿泊し、まずそれぞれの大学が合同ゼミのために準備した、地域別の問題についてプレゼンテーションを行い、問題を多角的に考察する。  
その上で、設定された自治体でテーマに沿って現地調査、関係者ヒアリングなどを行いつつ、地域課題に関する論点の集約・整理を行うとともに、解決案などもまとめてプレゼンテーションを行う。  
それを元に地元議員、行政職員、NPO関係者、地域メディア関係者などを交えた議論を行う。学生の調査の成果に関しては教員のみならず、地域住民や自治体、メディア関係者からの評価を受ける。

大学改革推進等補助金 質の高い大学教育推進プログラム

「学生主導型ゼミによる地域活性化人材の育成」

事業推進責任者 熊本大学法学部 教授 伊藤洋典

連絡先

住 所 〒860-8555 熊本市黒髪2丁目40番1号  
 電話番号 (096) 342-2320  
 F A X (096) 342-2310  
 メールアドレス c-sato@jimu.kumamoto-u.ac.jp

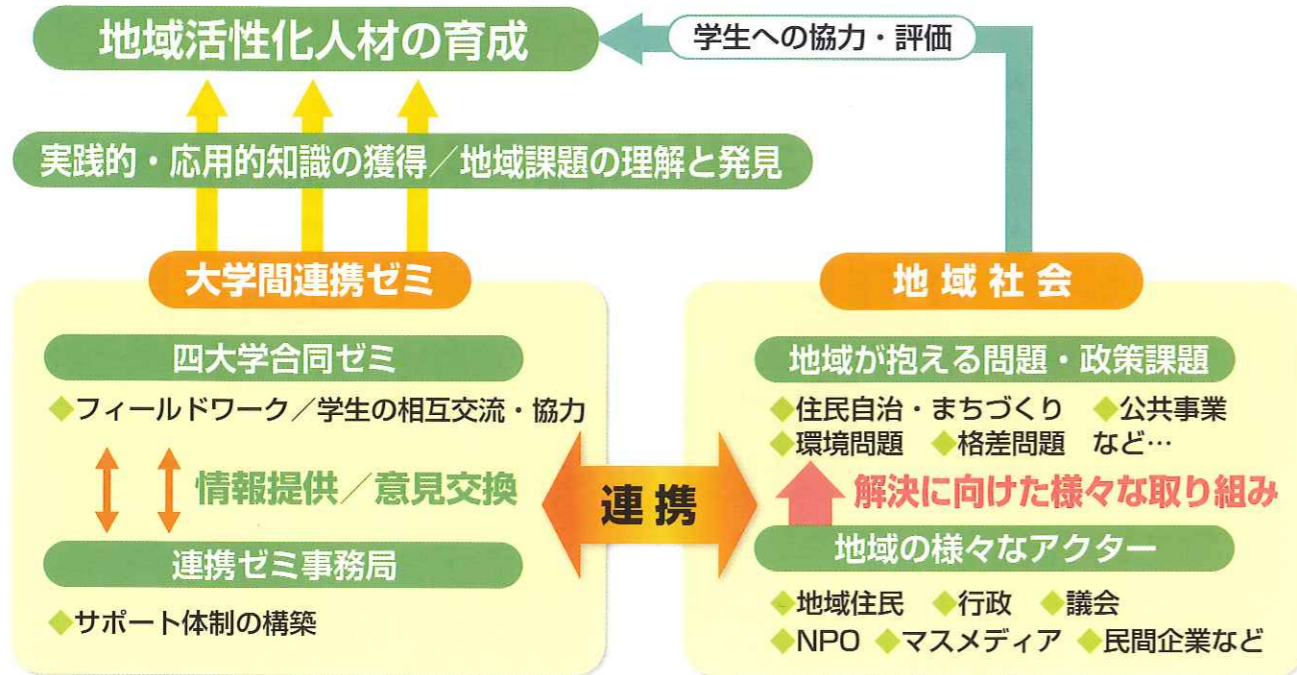
# 学生主導型ゼミによる “地域活性化人材”の育成

副題  
～「九州四大学合同ゼミ」における  
地域課題と切り結ぶ政策教育の充実

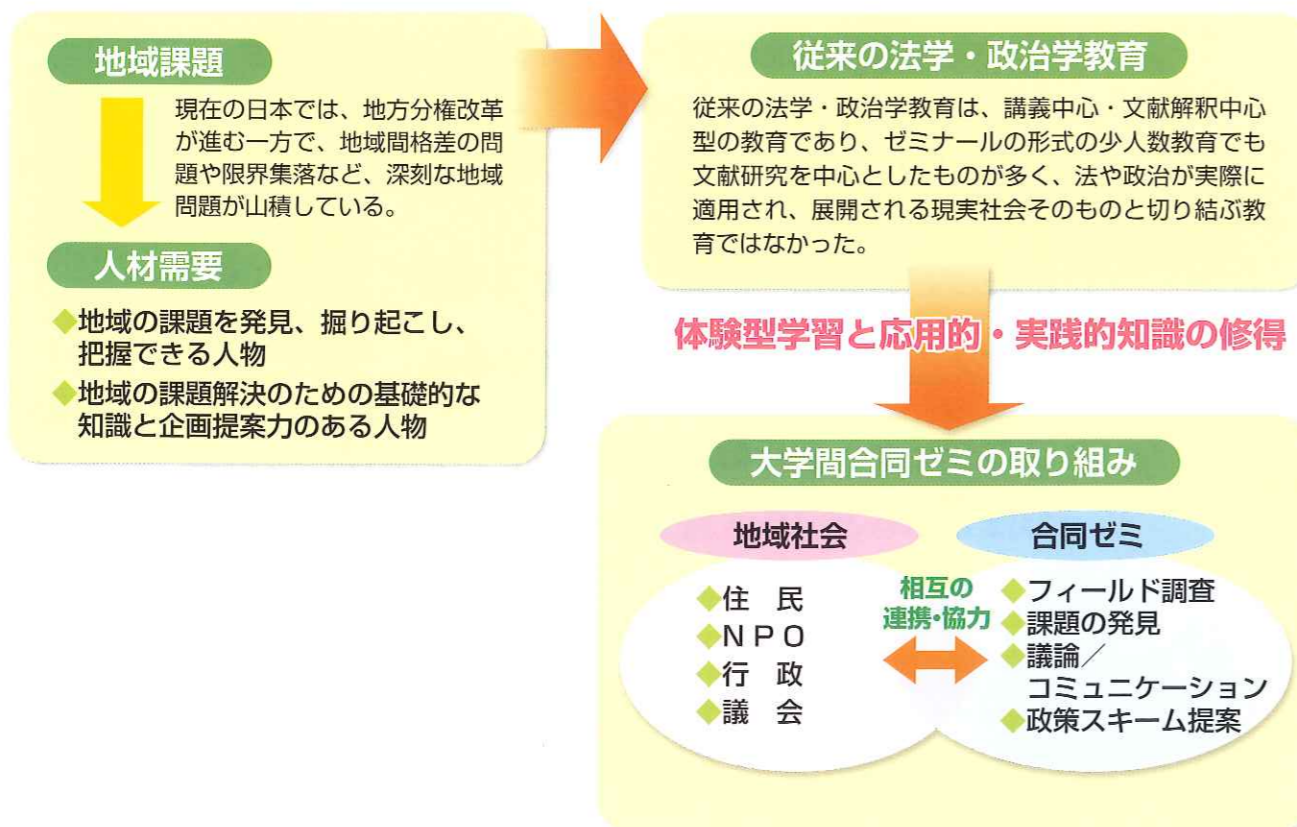
本事業は、九州管内の4つの大学が連携し、フィールドワークを基盤とした学生主導型の合同ゼミを開催し、以って、山積する地域課題の解決に資する人材の育成を図る事業である。目指す人材像は、一言でいえば「地域活性化人材」である。「地域活性化人材」とは、

- ① 地域課題の発見・把握のプロセスを身につけている
- ② 情報発信力に基づいた企画立案力を身につけている
- ③ プロジェクト遂行のためのマネジメント能力を身につけているという人材である。

## 取り組みの全体像



## 取り組みの内容



## 合同ゼミ年間の流れ

時期	大学間合同ゼミのプロセス 大学が取り組む内容	事務局・教員の支援
5月	合同ゼミ推進事務局による企画、情報収集 / 各大学への連絡	事務局運営始動
6月	<b>テーマの募集</b> 学生によるテーマ設定の準備 1. 各大学ゼミにて、資料・文献の読み込み 2. 各ゼミにて討論、テーマについての検討	<b>事務局</b> ●事業ホームページ開設 ●教員の調査活動補助 ●大学間の情報収集 ●テーマ募集の補助
7月	<b>テーマの決定</b> 学生によるテーマの設定作業 1. 各ゼミ代表による合同打ち合わせ 2. 意見の集約 / 論点の整理 3. テーマおよびフィールドの決定 4. 共通課題図書、資料の設定	<b>教員</b> テーマの決定後、教員ら4名による国内および国外の事例調査 1. 国内調査 (8月) 2. 国外調査 (9月) ↓ 整理と検討 ●調査事例の紹介とアドバイス
8月	<b>大学別プレ合宿</b> 大学別でプレ合宿の実施 1. ゲストとの交渉 2. 合宿に向けた資料作り 3. フィールド調査 4. プレ合宿報告書作成 5. 合同ゼミに向けた検討会・準備	<b>事務局</b> ●プレ合宿運営支援 (自治体や民間との渉外、事業事務、情報収集を担当する) ↓ プレ合宿後、学生の報告書作成の補助を行い、プレ合宿の成果を各大学に発信し連絡・調整を行う
9月下旬	<b>大学間合同ゼミ</b> 大学間合同ゼミの実施 1. 合同ゼミ開催に向けた打ち合わせ 2. フィールドの選択 / ゲストとの交渉 3. 合同ゼミ準備 / 資料作成・情報交換 4. 合宿の実施 / フィールド調査 5. 全体討論・総括→政策案の提案 6. 報告書作成等、成果の発信	<b>事務局</b> ●合同ゼミ運営支援 1. 開催地との渉外および、参加大学への情報発信・広報 2. 合同ゼミ準備補助、参加校からの要望・意見収集と対応 <b>教員</b> ●学生への助言、講評
12月	<b>成果の発信：活動の記録・報告書の作成 / スキーム作り</b>	<b>事務局</b> ●成果発信補助 1. 報告書作成と海外の大学との意見交換 2. 活動内容のオンライン化 <b>教員</b> ●学生の成績評価
1月		
2月		

## 合同ゼミ事業のサポート体制

